⑻　東２号倉庫
①　減損を認識した固定資産の概要
用途：倉庫
種類：建物及び建物附属設備
場所：東京都目黒区大岡山２－１
帳簿価額：3,916千円（建物3,900千円、建物附属設備16千円）
②　減損の認識に至った経緯
当該建物を調査した結果、建築確認済証の取得が確認出来ず、東京都より取り壊しを行うよう指導されたことから、平成27年６月５日をもって廃止・取壊しの決定を行ったため。
③　減損額
損益計算書上に計上していない金額：3,916千円（建物3,900千円、建物附属設備16千円）
④　回収可能サービス価額
使用価値相当額が０円であると判断し帳簿価額を０円まで減損した後、当事業年度中に除却処理を行っております。
⑼　車庫
①　減損を認識した固定資産の概要
用途：車庫
種類：建物
場所：東京都目黒区大岡山２－１
帳簿価額：909千円（建物909千円）
②　減損の認識に至った経緯
当該建物を調査した結果、建築確認済証の取得が確認出来ず、東京都より取り壊しを行うよう指導されたことから、平成27年６月５日をもって廃止・取壊しの決定を行ったため。
③　減損額
損益計算書上に計上していない金額：909千円（建物909千円）
④　回収可能サービス価額
使用価値相当額が０円であると判断し帳簿価額を０円まで減損した後、当事業年度中に除却処理を行っております。
⑽　大岡山宿舎ＣＣ
①　減損を認識した固定資産の概要
用途：職員宿舎
種類：建物及び建物附属設備
場所：東京都目黒区大岡山２－１
帳簿価額：776千円（建物０千円、建物附属設備776千円）
②　減損の認識に至った経緯
学生寮の不足を補うため、平成26年11月17日をもって学生寮への用途変更を決定し、平成27年９月24日をもって職員宿舎としての使用を中止したため。
③　減損額
帳簿価額は回収可能サービス価額に比して低廉なため、減損額は計上しておりません。
④　回収可能サービス価額
使用価値相当額が正味売却価額と比較し高いため、使用価値相当額を採用しており、使用価値相当額は再調達価額をもって算定しております。
⑾　電話加入権
①　減損を認識した固定資産の概要
用途：電話回線
種類：電話加入権
場所：東京都目黒区大岡山２－１　他
帳簿価額：378千円
②　減損の認識に至った経緯
電話加入権の市場価格が著しく下落し、市場価格の回復の見込があると認められなかったため。
③　減損額
帳簿価額は回収可能サービス価額に比して低廉なため、減損額は計上しておりません。
④　回収可能サービス価額
使用価値相当額が正味売却価額と比較し高いため、使用価値相当額を採用しており、使用価値相当額は再調達価額をもって算定しております。

６．重要な債務負担行為
該当事項はありません。

７．金融商品関係
⑴　金融商品の状況に関する事項
当法人は、資金運用については預金、国債、地方債及び政府保証債等に限定しております。資金運用にあたっては国立大学法人法第35条が準用する独立行政法人通則法第47条の規定に基づき、預金、公債、金銭信託及びＡＡ格以上の本貨建外国債のみを購入しており株式等は購入しておりません。
⑵　金融商品の時価等に関する事項
期末日における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりとなっております。
（単位：千円）

	貸借対照表計上額（＊１）	時価（＊１）	差額（＊１）
①　投資有価証券及び有価証券	8,482,727	8,913,964	431,236
満期保有目的の債券	8,121,199	8,552,436	431,236
その他有価証券	361,527	361,527	－
②　現金及び預金	4,157,739	4,157,739	－
③　未払金	(3,955,158)	(3,955,158)	－

（＊１）　負債に計上されているものについては、（　）で示しております。
（注１）　金融商品の時価算定方法
①　投資有価証券及び有価証券
これらの時価について、取引所の価格又は取引金融機関から提示された価格によっております。
②　現金及び預金
これらは短期間で決済されるため時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。
③　未払金
短期間で決済されるため時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

８．賃貸等不動産関係
当法人は、東京都その他の地域において、賃貸等不動産を保有しておりますが、賃貸等不動産の総額に重要性が乏しいため、注記を省略しております。